

かけはし通信

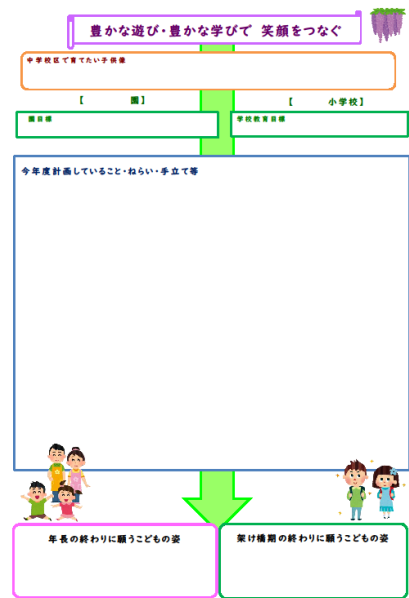
藤枝市こども課

令和8年度 第1回かけはし連絡会が開催されました



令和8年5月26日(火)に藤枝地区交流センターで「第1回幼保こ小連携推進事業(かけはし)担当者連絡会が開催されました。担当者55名のうち、昨年度からの継続が33名でした。内容は以下の通りです。

- 1 これまでの経緯・モデル地区での取組
 - ・令和7、8年度の事業説明
 - ・モデル地区三校でのスタートカリキュラムの様子
- 2 グループ協議
 - ・中学校区の願うこどもの姿の確認
 - ・今年度の交流等の目的について



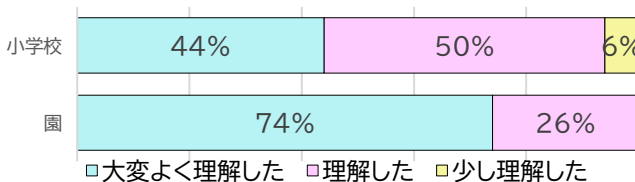
「かけはし通信 No.10」でもお伝えしたモデル地区三校でのスタートカリキュラムの様子を担当者全員で共有しました。実践した三校の先生方の生の声もお聴きすることができました。



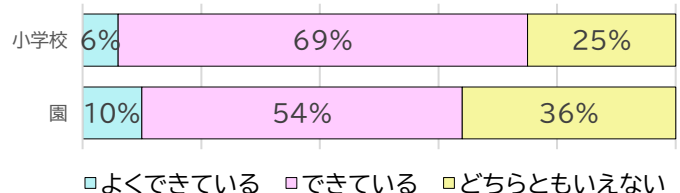
グループ協議では、まず中学校区で「願うこどもの姿」を確認し合いました。その後、小学校区ごとのグループになり、昨年末に計画していた交流や研修等の日程とねらいを確認しました。先生方同士の参観、年長児の学校参観、1年生と年長児の交流、近隣園同士の交流などについて、「どんなねらいで、どんな準備をすれば、効果的な交流になるか」など、活発な話し合いになりました。また、入学した1年生の様子を聴いて、園の先生方は安心していただいております。

【参加者アンケートより】

★ 架け橋期の大切さについてご理解いただけましたか？

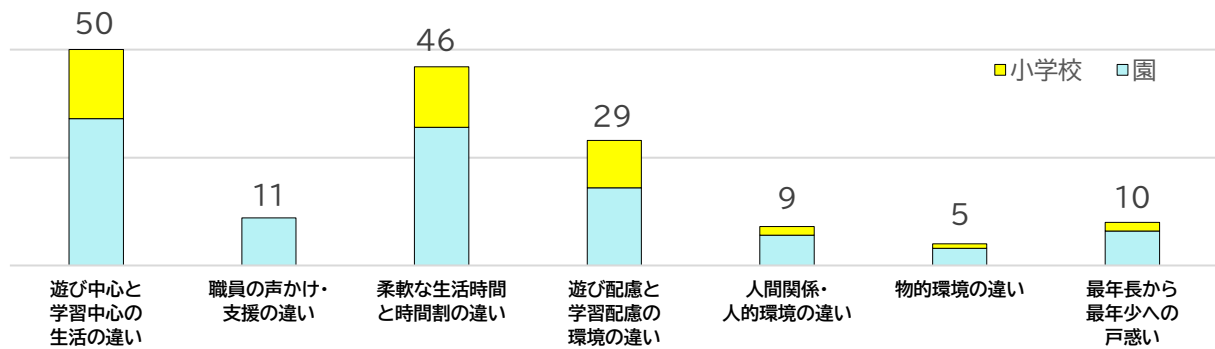


★ 現在望ましい幼保こ小連携ができていますか？

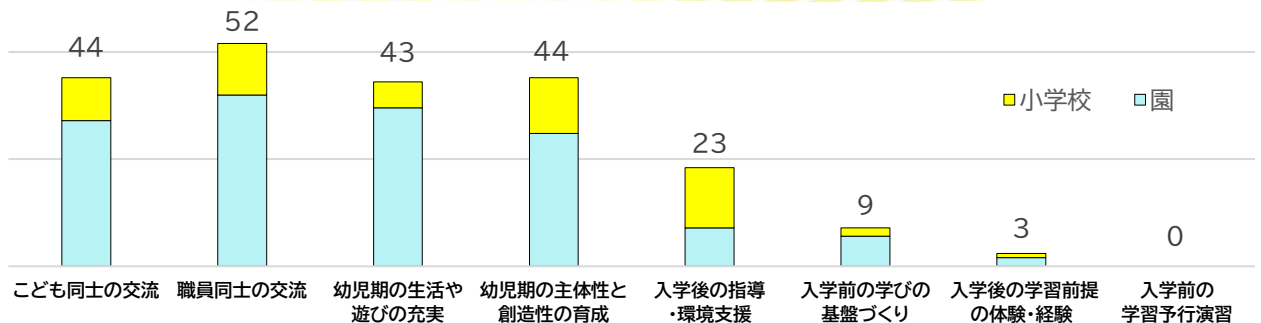


★ 幼保こ小連携・接続で大切だと思うものを教えてください。

(優先度の高い順に4つまで選択可)



★ 就学前の教育と小学校教育との違いにおいて、幼児への影響が大きいと思うことはどんなことですか？ (3つまで選択可)



★ 入学前に園で身につけておくことで、小学校への接続がスムーズに行えると思うことを教えてください。(抜粋)

- ・身につけておく、というより、「小学校ってこんなところだよ」「こんなに楽しいことがあるよ」ということをいっぱい伝えてほしいと思います。「小学校に入ったらこのままじゃ困るよ」という伝え方ではなく…。【学校】
- ・「困っている」「助けて」と言えるようになることや、自分の身支度は自分でできるようになっていればスムーズに接続できるように感じます。【学校】
- ・年長の終わりまでには、身の回りの事を自分で行き、困った事があれば伝えられるようにしています。交流会でトイレも利用させて頂き、安心していた子もいました。【園】
- ・遊びの中で、面白い発見をしたり、工夫できる子。その中で友だちの思いや考えにきづいたり、受け入れたりができること。自分の事が好きで、自信をもって生活ができ、困ったことを伝える力がある子。【園】

★ 入学にあたって、小学校に期待することや事前に知っておきたいこと、知っていてよかったことなどを教えてください。(園関係者のみ回答抜粋)

- ・今まで主体的に遊ぶ、と自由に遊びをつくっていく時間が長かった子どもたちが、小学校に入って授業にどう入っていけるのかと不安もありましたが、各学校で工夫しながら学校生活に慣れていけるようにして下さることがわかり、安心しました。

- ・1年生までにどんな力が身についていると良いか、という私たちの問いに、「とにかく、色々な体験、経験をしてきてもらいたい」「座っている時間は、今は長なくてよい」「挑戦しようとする気持ちが持てる子だといいい」という意見交換会で聞いたことが印象的で、聞いてよかったと思った。
- ・学校内のトイレや教室等の活動場所やその使い方、給食について、授業はどんなことをやるのかなど、できる範囲で知っていることどもたちの不安を取り除き期待を膨らめることができるのではないかな？
- ・本園からは様々な小学校に入学しますが、同じ学区として遊びに行かせていただくことで、学校の存在が子どもたちにとって敷居が高くなると良いな、と思います
- ・小学校へ就学するのが、地域の幼稚園の子がほとんどだと思っていた(保護者も保育士も)が、1人で就学している子も思っていたより多いと知って、保護者とも共有して、少し緊張を解くことができました。



★ 本日の連絡会で感じたこと、大切にしたいことをお書きください。

園

園での生活が入学後の生活に大きく影響していると感じた。学校生活がスムーズにいくよう、園での生活も職員で話し合いたい。また、職員同士の交流や情報交換もしっかりして、互いの課題や取り組みを把握した上で園生活を計画していきたいと思う。

安心してスムーズに就学するには、やはり小学校に出向き環境を知ったり慣れたりすることが大切なのかなと思った。交流でなくても、教室の雰囲気を知ったり、広いグラウンドを見たりするだけで子どもたちの就学への意欲が高まると思う。

学校の先生方と話ができて、卒園児の様子を聞くなど、架け橋の取り組みを深めていく事ができ良かったです。夏の合同研修会に呼んでいただきました。また保育園の先生とも話ができて横の交流も今年は深まりそうでこどもの安心材料がまた増えていきそうで有り難いなと感じました。

小学校

園と小学校、違いはたくさんありますが、目指す姿を共有することで、連携していけることはたくさんあると感じました。無理なく、お互いに価値のある交流になるようにしていきたいと思います。

園にいた時の様子を伺い、川遊びのときにとってもいい表情をしていたとのことだったので、生活科の授業を核に据えたらどうかと思いました。明日からも試行錯誤しながら頑張ります。小学校での様子を心配して声を掛けてくださった保育園の先生には感謝しかありません。こどもの成長は園から学校へ途切れることなく続いていることを改めて感じました。

昨年度からスタートした連携事業ですが、今年度はさらに進めていけそうだと思います。スタートカリキュラムを実際にやってみると思った以上によさがあり、連携することの必要性を感じたことで今後も色々チャレンジしたいと思いました。ただ、やり方を考えていかないと、先生たちの負担が大きくなってしまいますのでどうやれば負担感なく進められるか慎重に考えてきたいと思います。

昨年度から始まったこのかけはし連絡会。「とにかくお互いを知ることから」「持続可能な取組を！」とスタートして、各地区で少しずつ子どもたちのために工夫されてきました。昨年度話し合ったことややってみたことを基にしながら、今年は、さらに「こんなことをやってみよう。」と前向きに話し合ってくださいている様子がとても素敵でした。ありがとうございました!!

